

4 使用後の処理方法と注意事項

天日干しで処理する方法

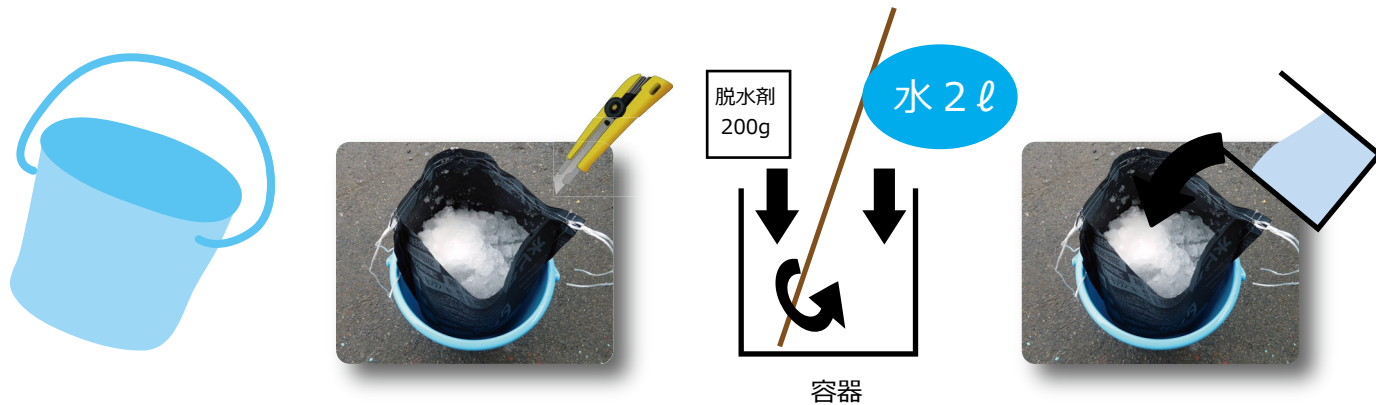
- 天日干しにより約1～3週間程度でポリマーが脱水し、袋の膨らみがなくなります。
 カッターで切れ目を入れて中のポリマーを直接日光に当てると早く分解します(※)。
 ポリマーと外装袋は一般ゴミとして処分できます。

※天日干しの際、アスファルト上で直に行うと、ごくまれにですが紫外線によって分解されたポリマーの成分によってアスファルトが若干変質することがございます。
 天日干しの際はブルーシートやすのこ等の上で行うことをお勧め致します。



脱水剤(塩化カルシウム)で処理する方法

- 「水ピタ」の入るサイズのバケツ等を用意し、本体の上部をカッター等で開き、水ピタ1袋に対して脱水剤(塩化カルシウム)約200gを水2リットルに溶かし、注ぎ込みよく混ぜます。
 一旦白濁しますが、時間の経過とともに、うわ水とポリマーに分離します。
 うわ水は下水道へ放流、ポリマーと外装袋は一般ゴミとして処分できます。
 尚、一般ゴミとしての常識的な量を超える場合は、都道府県知事許可を受けた産業廃棄物処理業者へ依頼して下さい。



- ①水ピタの入るバケツ等を用意
- ②バケツに水ピタを入れ上部をカッター等で開く
- ③脱水剤200gと水2ℓを容器で脱水溶液を作る
- ④脱水溶液を直接吸水ポリマーに注ぎ込む

注意事項

- 本品の吸水樹脂(ポリマー)は無害ですが目に入った場合は十分洗浄をして下さい。又、誤って吸引したり飲み込んだりした場合は直ちに医師の診断を受けて下さい。
- 再利用はできません。(一度使用すると性能が著しく低下します)
- 脱水剤(塩化カルシウム)の購入は、ホームセンター、金物店などで凍結防止剤として販売しております。
- 万が一高分子ポリマーが袋から漏れた場合は、滑りやすくなりますので転倒等にご注意し、ウエス等で拭き取ってください。

総発売元

MORIRIN
The Standard

モリリン株式会社 産業資材部

東京 千103-0004 東京都中央区東日本橋 2-1-3 ☎03-3863-9331
 大阪 千550-0001 大阪府西区土佐堀 1-3-7 肥後橋シミズビル ☎06-6441-3209

製造元

NaKaMuRa

<https://www.nakamurakensetsu-co.jp/>
2019/7

海水・真水両用吸水ポリマー土のう



取扱説明書

この度は「水ピタ」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本品を保管される前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、使用時に備えて大切に保管してください。

規格表	海水・真水用	真水用
標準タイプ	H型 30袋/箱 1袋サイズ: 500×400×5mm 吸水前重量: 0.55kg 吸水後寸法: 450×350×110mm 吸水後重量: 10kg	N型 50袋/箱 1袋サイズ: 500×400×3mm 吸水前重量: 0.14kg 吸水後寸法: 450×350×110mm 吸水後重量: 10kg
大型タイプ W型	WH型 20袋/箱 1袋サイズ: 650×500×5mm 吸水前重量: 1kg 吸水後寸法: 600×450×110mm 吸水後重量: 20kg	WN型 30袋/箱 1袋サイズ: 650×500×3mm 吸水前重量: 0.24kg 吸水後寸法: 600×450×110mm 吸水後重量: 20kg
加重タイプ G型	GH型 10袋/箱 1袋サイズ: 500×400×7mm 吸水前重量: 2kg 吸水後寸法: 450×350×120mm 吸水後重量: 15kg	GN型 15袋/箱 1袋サイズ: 500×400×7mm 吸水前重量: 1.6kg 吸水後寸法: 450×350×120mm 吸水後重量: 15kg
大型加重タイプ WG型	WGH型 10袋/箱 1袋サイズ: 650×500×7mm 吸水前重量: 2.5kg 吸水後寸法: 600×450×120mm 吸水後重量: 25kg	WGN型 15袋/箱 1袋サイズ: 650×500×7mm 吸水前重量: 1.6kg 吸水後寸法: 600×450×120mm 吸水後重量: 25kg

※気温、水温、水質により数値は変化することがあります。
 海水・真水用の吸水後数値は海水使用時の計測値です。

お買い上げ日 年 月 日

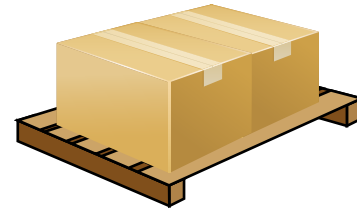
ご購入時より5年以内を目安にご使用ください。

それ以上は湿気等により機能低下し、緊急時に膨張しない場合があります。

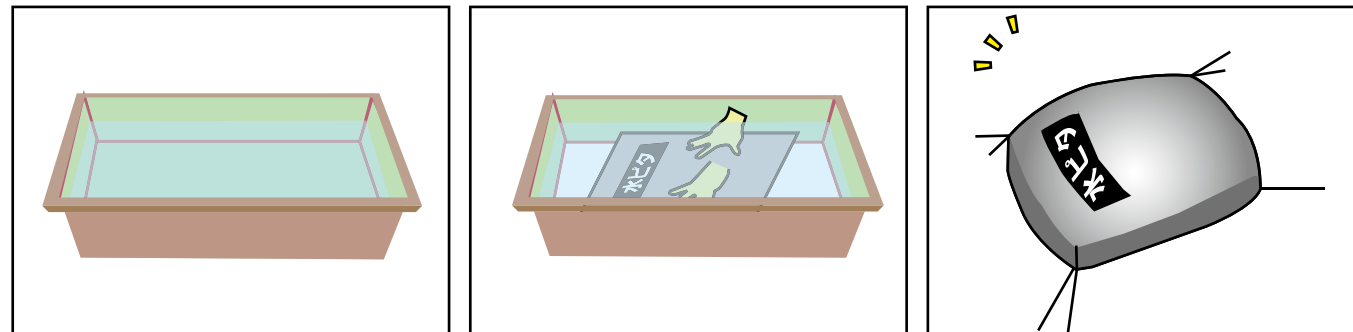
海水・真水両用吸水ポリマー土のう「水ピタ」取扱説明書

1 保管方法

- 本品は吸水ポリマーを使用していますので、湿気がなく日光の当たらない屋内冷暗場所に、段ボールのまま保管してください。
- 保管は、なるべく地面より高い所に保管してください。地面に保管する際にはスノコ等を利用して地面との間に隙間をつくり、風通しを良くしてください。
- 段ボールを積み上げて保管する際は、真水用 N 型で 5 段積、その他は 3 段積までとしてください。それ以上積み上げますと重さで段ボールが破損し、湿気が入りやすくなりますのでご注意ください。
- 水ピタは真水用 N 型が 10 枚、その他は 5 枚単位で透明の PP 袋で密封しています。一度開封した際にはなるべく使いきるようにしてください。残った水ピタを再度保管する際には、湿気や空気が入らないようにテープ等で袋を密封し保管してください。



2 使用方法



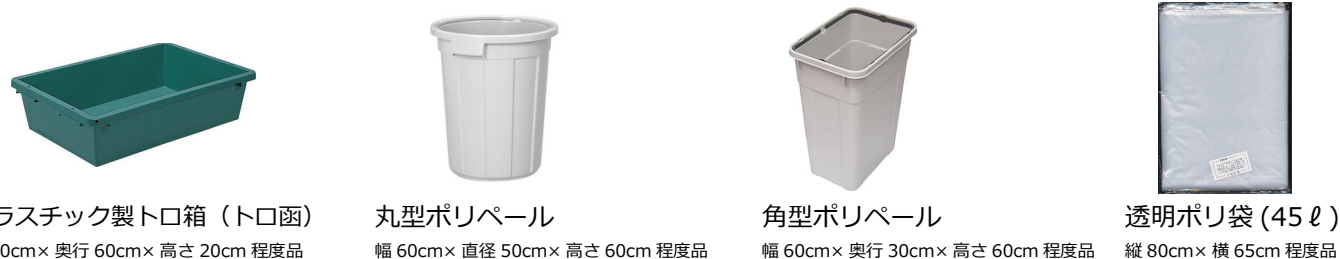
「水ピタ」の入るサイズの水槽等を用意し水を貯えます。

「水ピタ」を袋から出し、水に浸します。

約 3 分間後、「水ピタ」を取り出しご使用ください。(必要に応じて紐を取り付けてください)

- 水害時の濁水でも膨らみますので同様にお使い下さい。
- 真水用 N 型は真水約 3 分、海水・真水兼用 H 型は海水約 3 分、真水約 1 分で膨らみます。**
(H 型は真水で膨張させると膨張しすぎて積み上げ時、隙間のできる原因となりますのでご注意下さい。)
- 真水用 N 型と海水・真水兼用 H 型を交互に積み上げると止水効果が高くなります。
- 真水用 N 型は水道水、河川水、湖沼水等、塩分の入らない水でご使用下さい。比重は 1 でお考え下さい。
- 流出防止対策として紐を利用して固定するか、水面よりも高く積み重ねてください。
- 既に流れのある場合(流速 0.5m/sec 迄) は加重タイプ G 型をご使用下さい。
- 前記データは摂氏 20℃前後を想定しており、水温が著しく低下した場合は性能が低下致します。また水温が 10℃を下回る場合には膨らみませんので予めお湯等で水温を高くしてご利用ください。

水ピタを膨らませる水槽等の参考品



プラスチック製ト口箱 (ト口函)
幅 90cm×奥行 60cm×高さ 20cm 程度品

丸型ポリペール
幅 60cm×直径 50cm×高さ 60cm 程度品

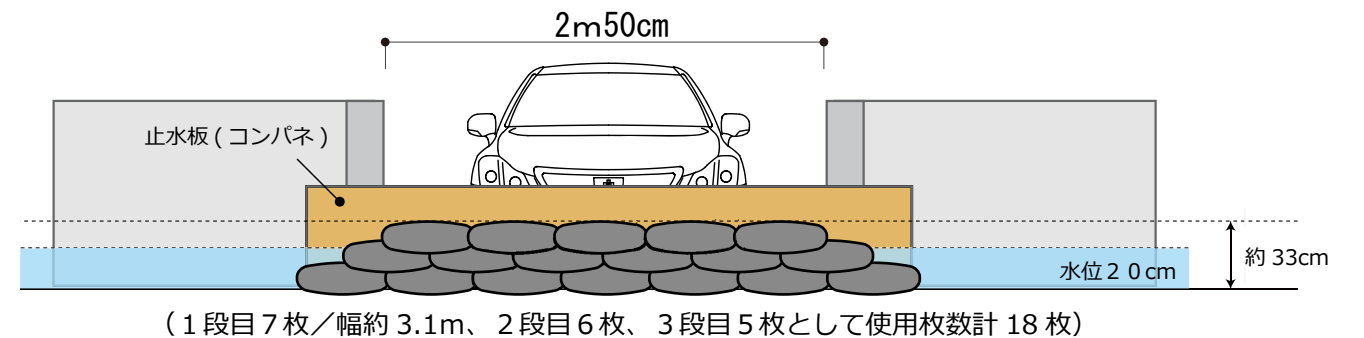
角型ポリペール
幅 60cm×奥行 30cm×高さ 60cm 程度品

透明ポリ袋 (45ℓ)
縦 80cm×横 65cm 程度品

3 標準的な使用例

下記の図は間口 2m50cm(一般的なガレージ)に水ピタ真水用 N 型を設置した場合の例です。浸水水位が 20cm 未満の場合は、水ピタを 3 段に重ねて止水します。

1 段目は隙間が空かないように詰めて並べます。2 段目は 1 段目の継ぎ目の上に隙間を埋めるように積み上げます。3 段目は 2 段目の継ぎ目の上に隙間を埋めるように積み上げてください。また、止水効果を高めるためにコンパネ (12mm) を止水板として併用することをお勧めします。

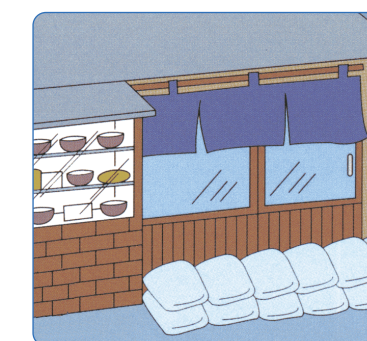


※ブルーシートで一体化させることで止水効果を高めることもできます。

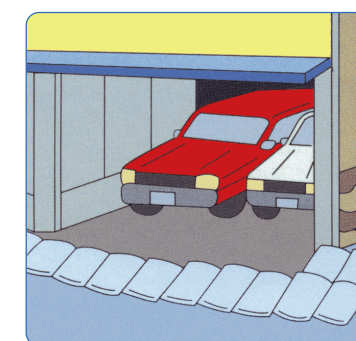


ご利用用途

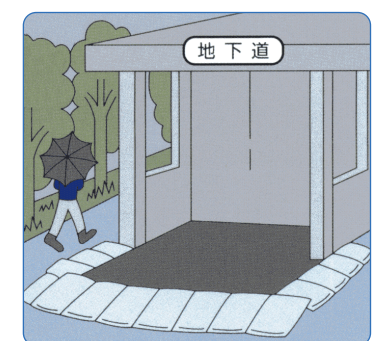
- ゲリラ豪雨や都市型水害の水害対策
- 地下道、地下駐車場、地下室への流入防止
- 一般家屋、店舗、車庫、地下室への浸水防止
- 鉄道線路、道路側溝のあふれ水、廻し水に
- 土木工事、建築工事、水道工事、下水道管に逆流防止
- 田畑園芸、工事現場の水路誘導
- シャッター下、自動ドア下の隙間からの浸水防止
- 浸水時、下水管の水の逆流防止



家屋、店舗への浸水防止



車庫への浸水防止



地下道・地下室への浸水防止